

# 赤十字防災ボランティア コーディネートマニュアル



戦場において負傷し武器を手放した兵士たちを、子ども達や家族を持った自分たちと同じ一人の人間として見なし、救護に当たったのは赤十字の創始者であるアンリー・デュナン一人ではなかった。実際、地元の婦人たちを中心に、まさに「ボランティア」として力を合わせて、兵士たちの救護に当たっていたその姿から、デュナンは赤十字の基本的な発想を得た。1859年、イタリア統一戦争のときである。

以来、赤十字は戦争・紛争にとどまらず、広く人道的救援を実施してきたが、いずれの場合にもその行動の原点は、「ボランタリズム」であった。

1995年の阪神・淡路大震災においては、極めて多数の市民がボランティアとして被災者支援の活動に当たったが、これは赤十字の考え方の原点でもある。

目の前にいる被災した人々にとって、何がいま最も必要な支援なのか。多くのボランティアの意思がうまくまとめられ、その専門や力が発揮できて被災者に必要な支援が実施されれば、それは極めて大きな効果となるが、そうでなければむしろ逆の効果にもなりかねない。

阪神・淡路大震災では日本赤十字社の活動も多くのボランティアに支えられたが、この未曾有の災害の中で、同時に多くの課題や宿題を背負った。その中の最大といってもいいものが、「より適格なボランティアのコーディネートを行うか」だったのではないだろうか。このことは、多くの他の団体やボランティアのグループにも当てはまるに違いない。

今回の『赤十字防災ボランティアコーディネートマニュアル』の作成も、まさにその課題に向けての一つの努力である。

本マニュアルは、「赤十字防災ボランティアリーダー」や「地区リーダー」をはじめとした災害時にコーディネート業務を担当するボランティア、ならびにボランティアによる救護活動に関わる日赤支部の職員を対象に作成されたものであるが、日赤以外のボランティア活動においても、活用されることを願っている。

ただここにおいて、マニュアルとしての一応のまとめはなされているが、コーディネートの直接の担当者や関係職員にとっては、一冊のマニュアルにある文面よりも、「訓練と経験の蓄積」こそが最大のマニュアルであることは間違いない。

今後の訓練や経験の蓄積によって、あるいは活動を経験された多くの方々からのご意見等によって、本マニュアルの内容が更に深められていくことを願うとともに、来るべき災害時において、阪神・淡路大震災をはじめとした過去の教訓が生かされ、ボランタリズムが被災した人々にとって「真の支援」として生きることを心から願うものである。

平成10年 3月

日本赤十字社

# 目 次

まえがき

## 第1章

### 防災ボランティア活動の意義

I. 災害時のボランティア活動の意義	9
1. 災害時のボランティア活動の意義	9
2. 災害時のボランティア活動	9
(1) 被災地内	
(2) 被災地外（後方支援）	
II. 災害時のボランティア活動の参加形態	11
1. 専門性と組織性	11
(1) 専門性、組織性のあるボランティア	
(2) 専門性はあるが、組織に属さないボランティア	
(3) 専門性はないが、組織に属しているボランティア	
(4) 特に専門性がなく、組織に属していないボランティア	
2. 被災地住民と外部からのボランティア	13
III. 防災ボランティアのコーディネート	14
1. ボランティアのコーディネート	14
2. 災害時のボランティア・コーディネートの形	14
(1) ボランティア・コーディネートはどのようなところで実施されるのか	
(2) ボランティア・コーディネートは基本的にどのようなことをやるのか	
(3) 活動リーダーとコーディネーター	
IV. 日本赤十字社の防災ボランティア	17
1. 日本赤十字社の防災ボランティア活動の基本的考え方	17
2. 赤十字防災ボランティアの主要な活動	18
(1) 被災地内	
(2) 被災地以外で実施される活動	
3. 災害時のボランティアと活動のタイミング	18
4. 赤十字防災ボランティアリーダー、地区リーダー、防災ボランティア	20
(1) 防災ボランティアリーダー	
(2) 防災ボランティア地区リーダー	
(3) 防災ボランティア	
5. 赤十字防災ボランティア活動の展開と防災ボランティアセンター	22
(1) 小規模災害	
(2) 中規模局所災害	
(3) 中規模広域災害	
(4) 大規模災害	
6. 他団体との関わり	26



(1) 災害発生後に集まるボランティア活動希望者の受け入れ	
(2) 行政、関係機関、団体との連携	
7. 活動の終了	27

## 第2章 防災ボランティアセンターの運営とボランティア・コーディネート

I. 防災ボランティアセンターの設置	28
1. 防災ボランティアセンターの定義	28
2. 設置	28
3. 防災ボランティアセンターの種類（役割）	28
(1) 都道府県支部レベル並びに現地レベル防災ボランティアセンター	
(2) 地域レベル防災ボランティアセンター	
(3) 都道府県支部レベル防災ボランティアセンターの代行	
4. 設置場所	30
(1) 都道府県支部レベル防災ボランティアセンター	
(2) 地域レベル防災ボランティアセンター	
(3) 現地レベル防災ボランティアセンター	
5. 防災ボランティアセンターのまとめ役	31
6. 組織	31
7. 業務内容	31
(1) 都道府県支部レベル防災ボランティアセンター	
(2) 地域レベル防災ボランティアセンター	
(3) 現地レベル防災ボランティアセンター	
8. 活動の終了	33
9. 運営のための具体的方針	33
II. 防災ボランティアセンターの運営と基本方針	36
1. 防災ボランティアセンター設置の手順	36
(1) 第1段階	
(2) 第2段階	
(3) 第3段階	
(4) 第4段階	
2. 係別役割分担（総務関係の基本方針）	41
(1) 総合調整係	
(2) 情報収集係	
(3) 広報記録係	
(4) 企画開発係	
(5) 渉外係	
(6) 運営係	
3. 係別役割分担（登録関係の基本方針）	54
(1) 受付係	
(2) 保険係	
4. 係別役割分担（活動関係の基本方針）	55

(1) 派遣調整係	
(2) 指導係	
(3) 案内係	
(4) 資材係	
5. 撤退	61
(1) 避難所からの撤退時期	
(2) 地元との調整方法	
(3) 撤退に関する経済支援	
(4) 撤退のタイミングとイベント	

## 第3章

### 防災ボランティア活動の実際

I. 情報の収集について	62
1. フェイズ1	62
(1) 発災直後の報告	
(2) 初動以降の報告	
2. フェイズ2	63
3. フェイズ3	63
II. 避難所を中心とした被災者のニーズの把握について	65
1. フェイズ1	65
2. フェイズ2	66
III. 具体的な活動展開について	67
1. 発災直後の避難所での活動	67
2. 現地活動拠点（現地レベル防災ボランティアセンター）の開設	67
3. 避難所での活動	68
(1) 避難者の把握について	
(2) 食事の提供について	
(3) 避難所の物資管理について	
(4) 保健衛生について	
(5) 居住区の調整	
4. 被災者への情報サービスについて	70
5. 必要物資の供給について	71
6. 医療救護班活動への支援	72
(1) 情報収集、連絡	
(2) ナビゲーター	
(3) 救護所の設置、患者の受付、介助	
(4) 患者搬送	
7. 支部、病院、血液センター等施設でのボランティア活動	72
8. 在宅被災者への活動	72
9. 海外赤十字社関係の安否調査活動	73
10. その他の活動	73
(1) レクリエーション等の活動	
(2) 仮設住宅入居者に対する支援活動	



## 第4章

# 防災ボランティア活動の留意点

I. 災害発生後の活動希望者への対応	75
1. 問い合わせに対する対応	75
(1) 個人からの問い合わせの場合	
(2) 企業団体からの問い合わせの場合	
2. 防災ボランティア受付から派遣調整までの手順	77
(1) 都道府県支部、地域レベル防災ボランティアセンターでの手順	
(2) 現地レベル防災ボランティアセンターでの手順	
3. 活動する前の心構え	79
4. 防災ボランティア活動上の留意点	80
II. メンタルヘルスケア（こころのケア）	81
1. 災害時の心の変化	81
(1) 災害のストレス反応	
(2) 外傷後ストレス障害（PTSD）	
2. 被災者への心理的支援	82
(1) 心理学的トリアージ	
(2) 被災者への接し方	
3. 子どもと老人のケア	83
(1) 子ども	
(2) 老人	
4. 救援者のストレス処理	84
(1) 救援者のストレス	
(2) ストレスの処理法	

## 第5章

# 資 料

I. 赤十字について	87
1. 国際赤十字の仕組み	87
2. 日本赤十字社について	88
3. 赤十字の標章	89
II. 日本赤十字社各都道府県支部・施設一覧	91
III. 都道府県・指定都市社会福祉協議会ボランティアセンター一覧	98
IV. 日本赤十字社防災ボランティア保険について	99
V. 付表	101
1. 防災ボランティア活動証明書	101
2. 赤十字防災ボランティア登録用紙（個人用）	102
3. 赤十字防災ボランティア登録用紙（団体用）	104
4. 防災ボランティア受付簿	106
5. グループ編成名簿	107
6. 防災ボランティア活動レポート	108
7. 情報カード	109
8. 物資管理台帳	110
9. 物資要請台帳	111